五味高幸議員

テレワーク事業についての詳細な説明は

人口減少、町税及び経済減少の歯止めに賭ける

質問・・・5年後の税収2億円の根拠は。

町長・・・他議員の質問と同様7600万円に訂正しました。

質問・・・5年後20億円の経済衰退の根拠は。

町長・・・年100名の人口減をカバーすると5年で500名、世帯当たり4名家族を想定し世帯当り400万円の経済効果で算出。

質問・・・武蔵野大オフィスは想定定員50名か。

町長・・・50名だが定住すれば世帯4名×50世帯で200名と、他新規就農等で500名が補填出来る。

質問・・・1年間無償体験と有るが、入居状況によっては2年後以降町負担が増加するのでは。

町長・・・29年3月まで延長を考えているが、それまでに定員を満たしたい。又、初年度システム設定、維持、サイバーテロ等の管理は、国の補助金申請し、町は1・5億円を超える負担はない。赤字を出さない事が前提。

質問・・・体験終了時の家賃徴収開始の判断基準は。

町長・・・ある程度の入居を見込み、29年4月以降は有料としたい。

質問・・・今秋より体験開始を予定しているが、招致活動にあたり、家賃の概要案、及びその根拠は。

町長・・・東京等のそれと比べ半額位と想定するが、実際に運営してみないと解らない。実情にあった検討はこれから。

質問・・・事業は何れ委託会社にと聞くが、めどは。指定管理制度か。

町長・・・そこで働きながらマーケティング・守衛等、管理する個人法人を考えていて、運営利益は考えずギリギリのところでやって頂く。

総務課長・・・設置管理契約の考えはなく、外部会社との契約締結を予定。

質問・・・武蔵野大学との契約年数他契約終了時の、町負担責任及び資産的価値の扱いについて

町長・・・契約は4年とし以後自動継続とし、30年位は耐用年数から予定するが、備品等投資資産については現段階では考えていない。

五味平一議員

釜無川への汚水放流事故について大腸菌群放流を町民に通報なし

県から口頭注意連絡すべきと反省

質問・・・下水道終末処理場より滅菌されない汚水が釜無川に放流されたと聞くが事実か。

町長・・・これは事実です。基準値が1立方センチ当たり3千個の大腸菌群が最大値ですが、4月23日午前10時に5600個に増え基準値を超えた。すぐに下水道公社に調査を依頼結果、塩素剤が供給できる状態でなく、同日午後3時に県も調査を行い最大1万四千個まで上昇し応急手当の結果、24日午前には40個となり基準値以下となった。また汚染水は約90トン放流されたことが推定される。県からは口頭注意であり、漁協・集落には連絡しなかったがこれは連絡すべきであったと反省している。

質問・・・事故の背景要因について

町長・・・三つの汚染水を処理するルートがあるが負荷バランスが良くなくて一つにのルートに集中し機能不全を起こしたのが原因である。現在は毎日の検査を行っている。

質問・・・なぜ町民に通報しなかったのか。

町長・・・通報しなかったことにお詫び申しあげます。きちんと通報すべきであったと反省している。

副町長・・・残留塩素があったことと、川の流量が多く希釈され基準値内に入るとの考えで報告の基準がないことで報告しなかった。今後は基準を持つべきだと思っている。

上下水道課長・・・水質汚濁防止法の中には有害物質等が流出した場合は報告しなければならない、大腸菌群には通報の基準がないので一時的なものと理解し通報しなかった。今後は関係機関とで検討したい。

質問・・・法令の遵守は最低限の義務であり、水環境の悪化を防ぎ環境の負荷をできるだけ低く抑え、安全優先の意識を持ち今後における放流水の事故発見時には、隠すのではなく、住民・関係者に速やかに通報することを求めるがいかがか。

上下水道課長・・・基準はないがなるべく早く通報出来るようにしたい。

【その他の質問】

○高校生の医療無料化について